

令和3年度第5回 羽島市公共施設等検討委員会 会議要録

日 時	令和4年3月30日（水） 午後1時30分から午後2時30分
場 所	本庁舎4階第1委員会室
出席者	<p>〈推進委員〉</p> <p>内田裕市委員長、(以下50音順)、黒田淳委員、鈴木登司雄委員、田内重三委員、鶴田佳子委員、番和重委員、水谷邦照委員、村橋剛史委員、</p> <p>[欠席者：小森博昭委員、五島恵委員]</p> <p>〈市関係者〉</p> <p>宮川企画部長、田中企画部次長兼総合政策課長、堀健幸福祉部次長兼高齢福祉課長、木村福祉課長、渡邊教育支援センター所長補佐、八島高齢福祉課課長補佐、福田総合政策課主査</p>
内 容	<p><u>1. 開会</u></p> <p>(委員紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿に基づき各委員を紹介した。 <p>(出席委員数の報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員10名中、過半数の8名の出席を得ていることから、羽島市公共施設等検討委員会設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告した。 <p>(情報公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会は原則公開されること、会議資料、会議要録を後日羽島市のホームページにて公開することを確認した。 <p>(傍聴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5名の傍聴者がいることを報告した。 <p>(企画部長あいさつ)</p> <p>(委員長あいさつ)</p> <p><u>2. 議事</u></p> <p><u>議事(1)「いきいき元気館」、「老人福祉センター」におけるあり方検討について</u></p> <p>①説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が【資料1】「いきいき元気館及び老人福祉センターの施設のあり方について(答申案)」、【資料1別紙】「いきいき元気館及び老人福祉センターのあり方について(案)」及び【補足資料】に基づき説明した。

②質疑

委員

細分化という部分で私の思いと違うところが見受けられる。大きいニーズのものはコミュニティセンター等、各地域で実施しても人は集まるが、趣味に近いニーズの少ないものは各地域で実施しても人数が確保できないため、そういうものは大きい枠でとらえて市一本で展開してほしい。

委員

ソフト面的な部分かと思うが、答申書として変えないといけない部分はあるか。

委員

今の部分のニュアンスが一致していないと思っただけで、全体的には問題ないと思っている。どこでどういうことをやるかはその都度検討していかなければいけない。

委員

今の意見の部分について、答申書案内（6ページ中段）の「規模の大きな」という部分を「各コミュニティセンターの領域を超えた活動」というニュアンスの文言に変更するとより適切になるだろうか。

委員

その方がわかりやすい。

委員

それでは、地域密着で実施した方がいいもの、全体で考えた方がいいもの両方を考えて、今すぐ文章を精査することは難しいので、後日、修正をさせていただく。

委員

今回、仮に両施設を廃止できたとすると、約2,100㎡の延床面積の削減になる。取り組み初期は代替施設もあり議論もしやすいが、今後はどんどん目標の達成が難しくなると思う。その施設が必要かどうかの議論も大切だが、目標値に向かって取組みを進めていくことも付け加えてはいかがか。

委員

今年度は、いきいき元気館と老人福祉センターを議論しているが、本来、本委員会では施設全体を考える委員会なので、全体的なことを一言入れてもいいかもしれない。事務局としてはどうか。

事務局

事務局からというわけではないが、委員の言われる全体的なことは5ページの冒頭に記載してあると思われる。

全体的な総量規制というのは、今回は老朽化の点からいきいき元気館と老人福祉センターに焦点をあてて行ったが、市内の施設で大部分を占めている学校という施設も対象に上がってくる。そういったところも含めて、計画的にやっていく必要があると考えている。

委員

数値目標を示した方が、施設量削減に向けた姿勢がわかりやすいという指摘と思う。2施設の削減で目標が変化するが、2施設以外も検討していくということは読み取れない。数値を入れるところは議論がある。

委員

第4章のタイトルが「いきいき元気館、老人福祉センター」なので、第4章に全体のことを記載するのは座りが悪いと思う。全体をどうするかについては、冒頭で計画的に実施していくという文言を入れた方がいいかもしれない。数値目標については、第4章の最後に、今回の2施設の削減でどれぐらいの削減に繋がるか示すぐらいでどうか。

委員

6ページ上段で「法律的な必置義務はない」と記載があるが、冷たい印象を受ける。言葉だけの問題なので内容に関わることはありませんが記載について検討いただきたい。また、6ページ中段に老人クラブの需要が高まるとあるが、実際のところどうなのか。

委員

コミュニティの問題は、老人クラブに限らず町内会等でも、全国的に入らない人が増えている状況はある。ただし、加入者が減ったのでじゃあやめましょうという単純な話ではない。そこまでは、この提言書で書くところではないので理解いただきたい。

委員

委員発言の部分は「教養講座、サークル活動利用、老人クラブの活動支援等の機能」となっているので、高齢者が増えるからニーズが高まる、それから多様化も進むということ「高まり」と書かれていると思う。老人クラブの活動ニーズが高まるという意味合いではないと思うので、誤解を生むようであれば、「ニーズが高まり、かつ多様化が予想される」というような文言にすることはどうか。

③まとめ

委員

意見も出そろったようなので、議事を終了する。本日は皆様からいただいた意見を基に修正をさせていただき、後日、私が代表して市長にお渡しさせていただく。

3. 閉会